令和6年度 戸津辺の桜

川柳作品

～ 作品テーマ 戸津辺のさくら・桜・春・矢祭 ～

34作品を紹介！

〈一般の部〉

いち早く 戸津辺の里に 花咲かす
金澤 光枝
県内でいち早く開花し、町内外から多くの人が見物に訪れ楽しんでいる状況を詠んだものです。

幾年も 満開の花 咲き誇る
金澤 邦芳
樹齢600年以上となる桜の大木が、毎年、毎年誇らしく満開の花を咲かせ多くの人に感動を与えている。

慈顔なる 老桜皆を 招きたり
片野 税子
戸津辺の桜を初めて観賞致しました時、その美しさに大変驚きました。其の時より又、老桜のごつごつした木肌が、仏様のお顔にも見え、訪う度に心が和みます。

咲くまでを よくぞ辛抱されました
栗田 道代
私の庄園中では「桜塚」と呼ばれていい名のとおり桜の木はあちらこちらにありますが、植えただけで保護しないと倒れてしまうのではないかと思います。道路沿いの桜の木たちは切られ、それを見るたびもう少し保護の邪魔になるそれでも木がある限り咲いてくれます。

陸奥の 戸津辺の里に 桜咲く
金澤 康俊
東北でも一番早く咲くと言われている戸津辺の桜が春の訪れを告げている

あたたかく いちばんのりの さくらいろ
齋藤 京子
戸津辺の桜も、春に一番先に咲く、待ちどおしい花です。

矢祭を 見守る戸津辺の桜かな
齋藤 吉民
六百年もの時代を風雪に耐えながら、地域に根付き咲き続けている戸津辺の桜は町のシンボルです。少子高齢化により地方消滅の危機さえ論じられる中、これからもずっと矢祭町をしっかり見守り、威風堂々と咲き続けて頂きたい一念で詠みました。

電報で 咲くさくら今 孫ウェブで
藤原 一枝
今はウェブでわかります。

春耕は 戸津辺桜が 合図です
熊田 孝子
桜が咲きはじめると農業が忙しくなります。

東北で 一早いハナ エドヒガン
青砥 吉次
勇壮な姿に感銘。戸津辺の桜。

天を突く 戸津辺のさくら 地に栄え
小室 トキ子
天を突く 戸津辺のさくらを強調。地 は矢祭町の土地。栄え は人の営みと繁栄を。天地人を文字ってみました。

六百年 戸津辺の桜 堂堂と
鈴木 君子

春告げる 人波多き 戸津辺かな
鈴木 フヂ子
戸津辺の桜が咲き始めると、花見の人、カメラマンさん達、車も多くなりにぎやかになりますね。春が来たなあと思います。私も満開の頃、下から見上げ、青空に咲き誇る戸津辺の桜は矢祭の誇りです。沢山の人に見て頂きたいです。

戸津辺にて 春風ゆれる ヒラヒラと
古市 由美子

春戸津辺 押すな押すなの 花サクラ
原 清勝
春になり、戸津辺の桜が満開に咲き、花見に人々が来て大変ににぎわっている様子を詠みました。

野良仕事 戸津辺の桜が 春を呼ぶ
田所 敏伸
タネまき桜とも言われ、桜の開花と一緒に農作業が始められたようです。

皆に愛され じっくり構え咲く 戸津辺の桜
鈴木 タケ子
手入れされ立派に育ち一生懸命咲き待つ。

春だよな 戸津辺の桜 町一位
石井 フサ子
戸津辺の桜はいつも心に思っています。町の人たちも桜のようにきれいな気持ちになれたらな。

人しれず 七百年も 咲いている
佐川 粂雄
戸津辺の桜は六百年～七百年もの間、人に見てもらっても、見てもらわなくとも黙って咲いている。その力を句にしてみた。

主役張る 戸津辺桜の 春舞台
大森 陸男
振り向けば 戸津辺の桜 花がすみ 北はえぞ よいぞ矢祭 みなみ阿蘇 君も来よ 戸津辺の桜 見初めごろ 桜の見事さを謳う

七百年 艮太夫もが 見たサクラ
篠田 啓子
樹齢七百年の歴史の中にはたくさんの人々が戸津辺のサクラを見に来たと思います。その中には吉岡艮太夫もいたのかな。

高台の 戸津辺の桜 町自慢
篠田 幸子
県内で常に人気の高い戸津辺の桜を歌ってみました。

大寒を たえて春まつ 戸津辺のサクラ
篠田 周平
きびしい冬をたえて春に咲くサクラは一段ときれいでその生命力を感じます。

風に散る 戸津辺の桜 天下一
鈴木 スミエ
満開のさくらもいいが、散る桜もこれまた良い。

我を観に 三代で来て うれしいな
片野 盛好
桜の心を詠みました。

行ってみっぺ 今が見頃だ 戸津辺の桜
鈴木 通夫

開花して 春耕告げる 戸津辺のさくら
青砥 安彦
戸津辺の桜樹種はエドヒガンザクラ。開花はソメイヨシノよりも早く、昔から桜の開花が中石井地区農家の稲作始まりの目安としてきたことから詠んだ川柳である。

滝桜 競い負けない 戸津辺のサクラ
菊池 もとゆき

春一番 戸津辺の桜 吹き誇る
戸部 隆正

春を呼ぶ 戸津辺のさくら 咲き誇れ
小林 呈子
桜の中で最も早く開花する戸津辺の桜。色づく桜を見ると春が来たことを感じます。そして、老樹でありながらも毎年見事な満開のさくら。自信と誇りを持って咲き続けてください。いつまでも優れた業績、人物が出てくることを思う。滝桜も含まれ誇りです。矢祭町自慢の戸津辺の桜、これからの町にも期待を込めて！！

〈学生の部〉

友と行く 戸津辺のさくら いつまでも
小林 愛
友だちといつまでも今の関係が続きますように。戸津辺の桜もいつまでも今の姿で咲き続けていけますように、願いを込めて。

おらが町 戸津辺のさくら 見に来いや
小林 煌
高校で他県から来ているクラスメイトに矢祭町の説明をしたとき、まず一番に戸津辺の桜の写真を見せました。この戸津辺の桜の一枚の写真で「矢祭町」が把握できます。

ヒラヒラと 桜舞いちる はかなさよ
髙橋 陽菜子
満開のさくらもきれいですが散っていく花びらも大好きです。

高台に 一本桜 たくましく
髙橋 聡真
六百年の大樹を国道から見るのが好きです。

沢山のご応募 ありがとうございました！